



## 投稿 呼び戻そう ホタルや川魚を！ 投稿者：木原公民館長 上木原充さん

■幼少の頃に「泣ごがい、飛ほがい、泣ごよっかいひつ飛べ」と、この合言葉で川遊びしたものです。

尻無川が近年の事業活動や私たちの生活様式の変化により汚染され、ホタルが激減し、川魚も見られなくなりました。川底にはヘドロが堆積し、自然の浄化能力を失っている状況に大多数の周辺住民が危機感を募らせ、地域全体を動かすきっかけとなったと考えています。

住民からの発議があり昨年の9月20日、全会一致で『尻無川の自然環境を守る会』が発足しました。

地域住民をはじめ、尻無川流域の事業者や沿岸漁業の方々にも参加のお願いをし、昨年は11月に河川の草刈りとEM団子作りをし、それを12月に投入しました。

今後更に住民の意識を高め、危機的状況に瀕している尻無川の河川浄化や周囲の海・山といった様々な自然を守る活動を行うことにしています。



1月2日に行われた立神中学校第一期生同窓会

## 投稿 立神中一期生 30歳会盛大に 投稿者：田中教文さん

■早いもので、私たち立神中学校第一期生も30歳になりました。開校当時は体育館もなく、グラウンドも整備されていない状況ではありましたが、みんなで知恵をしぼり、いろんなところで学習したり、遊んだりしたのを覚えています。

ほとんども、中学3年のときに立神中学校から立神中学校に転入学したわけですが、正直そのときは仲間と別れてしまう悲しさからこのことを心から喜ばずにいました。しかし、時が経ち30歳になり、集まった57名と思い出話をして出てくるのは立神中学校での思い出ばかり。立神中第一期生としての誇りを胸に、それぞれが素晴らしい人生を送っているようでした。また、当時の先生方の出席もあり、大変盛り上がった30歳会となりました。

## 高校生がボランティア・読み聞かせ ～ふれあい図書館まつり

■『ふれあい図書館まつり』が1月6日、市民会館で開催され、紙芝居や絵本の読み聞かせなど多彩な内容で盛り上がりました。また同日は市立図書館で古本交換市も開催され、枕崎・水産高校の生徒10名のボランティアも参加し大盛況となりました。

このまつりでは、市内で活動する読み聞かせ団体や保育・幼稚園の先生など7団体、約45名が発表しました。さらに今回は、枕崎高校の「発達と保育」の授業を選択している生徒たちが「はとぼほのおじさん」という手作り紙芝居を披露。これは、枕崎では大正時代、カツオ漁の通信に伝書バトを使っていたという実話を基にしたものです。発表を終えた長崎日美子さん（3年）は「枕崎のことをわかりやすく子どもたちに伝えたい。将来は保育士になりたい。今回のような体験をとおして一人ひとりの個性を伸ばしてやれるような優しい保育士になりたい」と将来の目標を話してくれました。



## 100歳おめでとございます ～徳村アサエさん（田布川町）

■1月20日に徳村アサエさんが100歳の誕生日を迎えました。徳村さんは、大変お元気で、身の回りのことはすべて自分でやっています。畑仕事をするのが日課になっていて大根や白菜など、たくさんの野菜を作っていて毎日大忙しとのことでした。

これからも元気で長生きされてください。



## 新成人が希望を胸に新たなスタート ～平成22年成人式

■新成人の門出を祝う成人式が1月3日、市民会館で開催され、新成人225人のほか中国人研修生の新成人20人も参加しました。

会場では、級友との久しぶりの再会ということもあり、あちこちで喜びの声が上がリ、記念撮影などをする姿が見られました。

式では、新成人を代表して、三浦夏希さん（桜山中卒業）が「私が今、自分の夢に向かっていけるのは、支え見守ってくれる多くの人々の存在があってこそ。これからは大人としての自覚と責任をしっかりと持ち、夢に向かってがんばりたい」と新たなスタートの決意を力強く述べました。



新成人代表のこたばを述べる三浦夏希さん

## 早く正確な110番通報を

～『110番の日』イベントで少年剣士が活躍

■1月10日の110番の日に合わせ、タイヨー枕崎店駐車場で早く正確な通報を啓発するイベントが行われました。イベントでは、枕崎警察署員をはじめ、枕崎剣道スポーツ少年団の少年剣士9名やちゃんサネさん、枕崎中央交番連絡協議会の方々に参加し、110番のかけ方のチラシなどを買い物客らに配りました。

参加した枕崎剣道スポーツ少年団の吉井雅人くん（枕崎小6年）は「何かあったら慌てず110番してほしい。でも事件や事故は起こらないでほしい」と話してくれました。



## 火災や災害のない一年を願って ～消防出初式

■枕崎市消防出初式が1月6日、総合グラウンドで行われ、消防署員や消防団員など約350人が参加しました。

市長による観閲や分列行進が行われたほか、消防車や消防団の小型ポンプ車が花渡川に向け一斉に放水演習も行われました。

手動のポンプ車で参加したふじ幼年消防隊も、消防服を着て可愛い放水を披露。隊長を務めた揚野尚健くん（6歳）は「隊長とうことでドキドキした。放水や分列行進は楽しかったけど、パレードはちょっとははずがかった」と話してくれました。

また、市中パレードが立神小学校金管バンドを先頭に行われ、りりしく行進する姿に、沿道の市民が拍手を送っていました。



## 寒さも吹き飛ばす熱戦に大歓声 ～正月の伝統行事『立神相撲』

■立神地区に伝わる正月の伝統行事『立神相撲』が1月3日、駒場公園相撲場で行われ、地区内の小・中学生や一般ら約100人が参加しました。小学生の団体戦・個人戦から始まり、手に汗握る好取組の数々に会場からは終始大きな歓声が上がっていました。

5人制でのリンクトーナメント形式で行われた小学校団体の部では、大堀Aチームが優勝。また、今年の十六番勝負では、小湊卓さんが優勝。今年の青年大関となり「三代目大湊」を襲名しました。